



## 海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会 (参加自由)  
(毎月 25 日 13 時~。生名開発センター 2F で開催)  
(33)

前々から不思議に思っていたことに、濱田國太郎が生誕地生名島あまり知られていないことがあります。それはしかし、弓削島でも岩城島でも同じようなことが言えそうで、原因は幼少時に地域の偉人伝など、社会教育ないしは学習機会が不十分だったせいだとうと思っています。そう思われる状況もあります。

一方で、生名島で國太郎がよく知られていない、よく思われていない理由のひとつに、かつては國太郎を話題にするのはタブーであったと言う話も聞きました。

國太郎が海員組合をつくり運用した実績がありながら、その振る舞いがアウトロー（無法者、やくざ等）と見なされ、当時の島の人からすれば、近づきたくない存在であった、あるいは、一般島民との交流も薄かった、という指摘です。

見てきたように、國太郎は決してアウトローではありません。「顕彰する会」の代表である村上貢先生も、そのころ若い人はみな、國太郎さんの話を聞きたがったと、ご自身の体験から述懐されています。しかし当時の島の大からすれば、國太郎の水上飛行機での帰郷とか、村民あげての出迎えとかは、結局は威勢を張る行為でしかなく、また労働組合結成という社会改革は、反権力活動と映り、お上に逆らうは悪とされた時代ゆえ、彼を話題にすることがはばかられたのかもしれません。

國太郎が海員組合長を辞任し、組合が功を称える寿像の建立をしたのちも、國太郎と同時代人であった村の長老たちによる「お上に逆らった國太郎」というイメージが払拭されることなく続いてきたのだとすれば、その誤解を解くのが、まずは、濱田國太郎を顕彰する会の務めではないのかな、と考えます。

私の日課はラジオ体操である。結論。体操の音楽はバック・グラウンドミュージックではなくといふことがよくわかつた。つまり、体操が音楽に助けられている。だから音楽が先行してしまうと、老齢化している者には少々きついのである。



大西幸江の

My ノート

2017.5.15 発行 発行者：大西幸江

〒7942410 越智郡上島町岩城 4780

TEL/FAX 0897-72-9035

メール yukie.onishi@nifty.com

## 病気の予防って何

「予防医学」という言葉を聞くようになってからもう随分経つ気がするけど、なかなか実際の生活には取り入れられない気がしている。

病気の予防といふと、予防接種や町が行っている子どもの虫歯予防であるフッ化物洗口なんかが思いつく。

でも、個人的にはちょっと疑問に思っている。子ども達が赤ちゃんの時には、言われるま

まに署名をして予防接種をしてきた。決められているものだから、万が一にもかから

ないためにといふのが理由だつた。でも、子ども達の病気がわかつて、病気のこと、薬のことを調べるうちに疑問があいてくる。時代の流れもあつて、次々に新しい情報があつて、次々に新しく情報を得たらされ、インターネットでは真偽のほどが定かでない情報もいくらでも目に見えることができる。今やテレ

ビで流れない情報も触れよ

うと思えば自在だ。

そんな中で、予防接種一つ

とっても賛否両論。予防接種を受けましようという呼びかけ

もあれば、する意味がないか

らするなど呼びかける情報

のものまで。どちらが本当なの

か。フッ化物洗口も同じ。

そこで、私が出した答え

は、予防接種もフッ化物洗口

も基本的に受けないとい

うこと。特にインフルエンザ

や子宮頸がんのワクチン接

種はいろいろな記事からワ

クチンが対応している割合

が低い。その割に副作用のリ

スクは高いのではないかと

感じる。

そもそも安全な予防接種

で承諾書を書くは何故な

のか。国や県、町の条例で予

防接種の損害賠償を決めて

いるのは何故なのか。疑問に

感じ始めるとキリがない。う

ちの子は毎日薬を飲んでい

る。これ以上体内にない物質

を入れたくない。

この頃は時々見かける食品添加物の問題。今や添加物なしには加工食品は製造販売で生きのだろうかと思うほどたくさんの添加物を使った商品があふれている。大量に安価に作られるため、多くの人が美味しく食べるため、腐らないようにするため、様々な理由から入れられている添加物。人体には問題ないとされていい。ただ、緩やかに一つでも取り入れていけたら変わると

思う。購入する時には、添加物表示を確認する。外食はで

きるだけやめる。季節の野菜

を取る。汁をとる。味噌を

加物を避けることはできな

い。ただし、緩やかに一つでも誰かと一緒に子供たちは連れて味噌づくりのワークショップに参加。もちろん

全部完璧にはできないし、添

味噌などの調味料。一人ではなかなかハーブが高いけれど、誰かと一緒に子供たちは連れて味噌づくりのワーク

ショップに参加。もちろん

つときブームになつた道鏡を大河ドラマにという人が出てきました。道鏡の場合天皇位問題だけではなく、女性天皇問題がからみ、また関係自治体の協力をNHKは求めます。自治体は観光につながるのを期待しますから道鏡には重きをおかないでしょう。

【道鏡を守る会・本田義幾】

食べることは、  
生きること。



私が実践しているのは、いつづきブームになつた道鏡を大河ドラマにという人が出てきました。道鏡の場合天皇位問題だけではなく、女性天皇問題がからみ、また関係自治体の協力をNHKは求めます。自治体は観光につながるのを期待しますから道鏡には重きをおかないでしょう。

【道鏡を守る会・本田義幾】



弓削通信は町議会や町政の在り方を問うもので、単なる一地方からの警告ではないよう思います。そして文化と政治の関わり連繋も考える材料になり、町おこしにつながるのでしょうか。某大臣が学芸員は観光を念頭におかないと発言しましたが、政治家は自ら観光に関わらずに発言するか

ら聾聾を買うのです。守る会では道鏡を大河ドラマにという人が出てきました。道鏡の場合天皇位問題だけではなく、女性天皇問題がからみ、また関係自治体の協力をNHKは求めます。自治体は観光につながるのを期待しますから道鏡には重きをおかないでしょう。

【道鏡を守る会・本田義幾】

「ラジオ体操の巻」  
村上清美



毎朝ラジオから流れるラジオ体操。毎回同じ体操なのに毎日違う声、ピアノ演奏が聞こえてくる。毎回同じ録音でもいのに、と思つたりするのだが、朝の新鮮さを伝えるためでもあります。ちなみに、今年はインフルエンザの予防接種は受けていませんが、我が家は今のところインフルエンザ知らず。ロインフルエンザは本当に、今年はインフルエンザの予防接種は受けている。中での小さなことの積み重ね生活だと実感しています。

本当の予防は、普段の生活に合せて身体を動かす。音楽に合わせて身体を動かす。私の場合、それとなかなか合わない。でも合うときもある。女性のピアニストのほうがテントがやや速い。私の場合、男性ピアニストのほうが身体の呼吸に合うような気がする。音楽仲間や保健師さん達との勉強会で、ラジオ体操の話題が出た。私のいう男性ピアニストは、ピアノの上に時計を置いて時間を取り込むのは、嬉しくない。実際にアレルギーを発症したり入ってしまう子供もいる。それをテレビで見つかり、不要と思われる物質を取り込むのは、嬉しい。でも消化吸収されないものだから始まった食生活の改善です。

音楽仲間や保健師さん達との勉強会で、ラジオ体操の話題が出てきた。私のいう男性ピアニストは、ピアノの上に時計を置いて時間を計りながらピアノを弾いているという。それをテレビで見つかり、という。操作のほうで見た、という。ああ、なるほど。身体の動きに合わせるために秒数まで意識しているのだと感心しました。念入りに身体を伸ばしたり、起きがけに体操するには、ちょっとした「間」が必要かもしない。それが 0・1 秒であつても違うのである。

つまり、体操が音楽に助けられている。だから音楽が先行してしまうと、老齢化している者には少々きついのである。結論。体操の音楽はバック・グラウンドミュージックではなくといふことがよくわかつた。